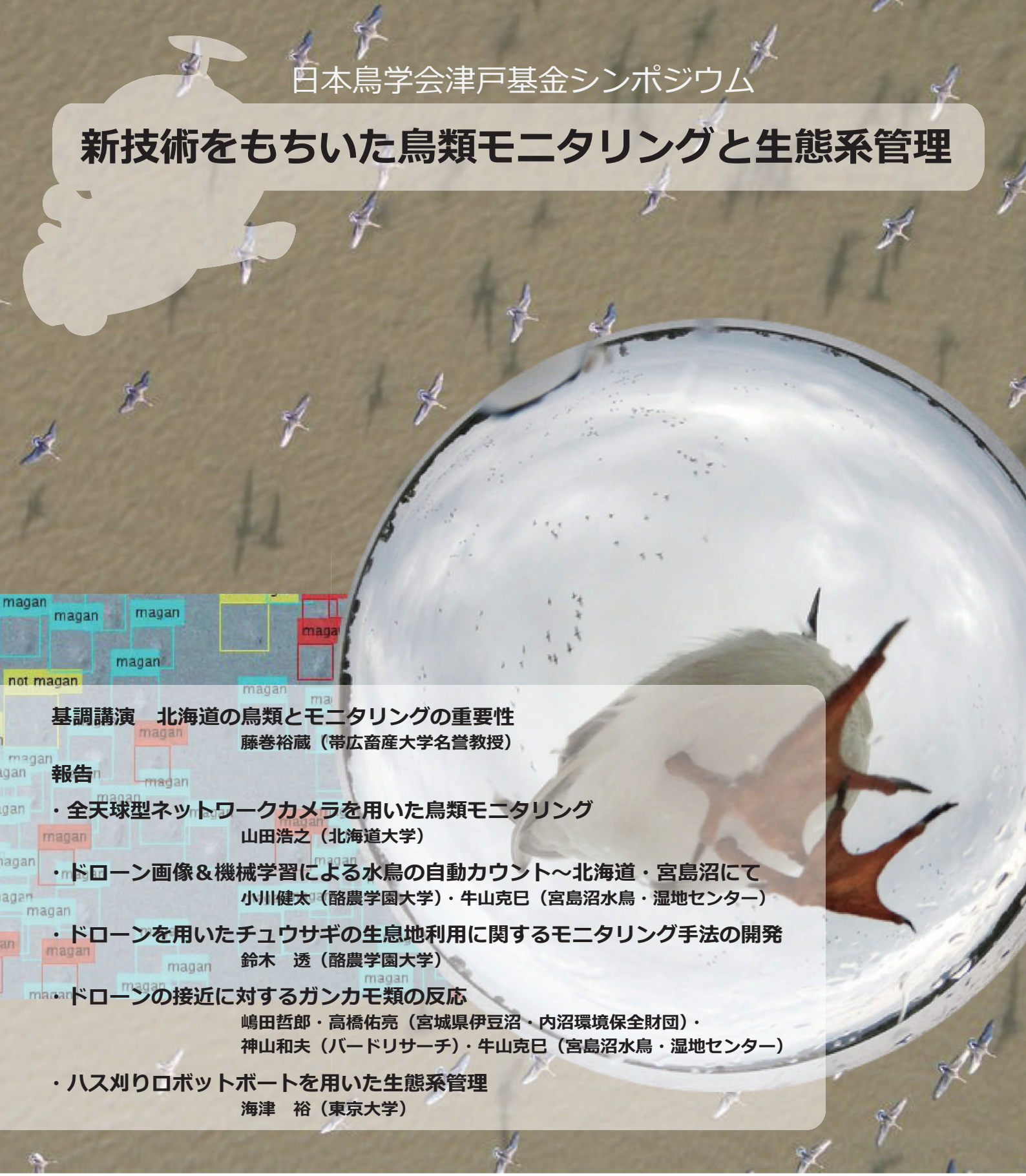
日本鳥学会津戸基金シンポジウム

新技術をもちいた鳥類モニタリングと生態系管理



基調講演　北海道の鳥類とモニタリングの重要性
藤巻裕蔵（帯広畜産大学名誉教授）

報告

・全天球型ネットワークカメラを用いた鳥類モニタリング
山田浩之（北海道大学）

・ドローン画像＆機械学習による水鳥の自動カウント～北海道・宮島沼にて
小川健太（酪農学園大学）・牛山克巳（宮島沼水鳥・湿地センター）

・ドローンを用いたチュウサギの生息地利用に関するモニタリング手法の開発
鈴木　透（酪農学園大学）

・ドローンの接近に対するガンカモ類の反応
嶋田哲郎・高橋佑亮（宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団）・
神山和夫（バードリサーチ）・牛山克巳（宮島沼水鳥・湿地センター）

・ハス刈りロボットボートを用いた生態系管理
海津　裕（東京大学）

場所：　北海道大学農学部多目的室（農学部総合研究棟 1 階 W109）
日時：　2019 年 10 月 26 日（土）13:00 ～ 16:30

※参加無料・どなたでも参加いただけます.
※詳細，申し込みは QR コードからお願いします.

主催：嶋田哲郎（宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団），山田浩之（北海道大学），牛山克巳（宮島沼水鳥・湿地センター）
後援：北海道大学大学院農学研究院，ウェットランドセミナー，一般社団法人 日本写真測量学会 北海道支部，
特定非営利活動法人 Digital 北海道研究会，北海道ドローン協会